

状態を検査します。

どのように検査するの？

検査の流れ

1



心電図を記録するために電極と記録器を取り付けます。

2



記録器を取り付けたまま、いつもと同じ生活を送ってください。(24時間)

3



丸1日経ちましたら、来院いただき、電極と記録器を取り外します。行動記録用の紙もしくはデジタルメモ器を持ってきてください。

4



後日、診断結果をご説明いたします。

チェックしてみましょう

動悸

- 胸が一瞬ドキンとする、ドキドキする
- 心臓が早く打つ、ゆっくりだが一拍ずつ強く打つ
- 心臓が一瞬止まるようだ
- 脈がとぶ

めまい・失神

- 頭やからだぐるぐる、ぐらぐら、ふわふわ感じる
- 立ちくらみがする
- 一時的に意識がなくなる

胸痛

- 胸が苦しい、胸が痛む

息切れ

- 階段の上り下り等、少しの運動で息切れがする

昼間眠い

- いびきをかく
- 集中力が続かない
- だるい、疲れる
- 睡眠中、呼吸が止まっていると言われたことがある
- よく眠れていない気がする

ひとつでも、こころあたりのある方は、先生にご相談ください。

お問合せ

24時間

ホルター心電図 検査のご案内

このような症状を感じたら？

- 動悸
- めまい・失神
- 胸痛
- 息切れ
- 昼間眠い



日常生活中心臓の拍動数、知っていますか？

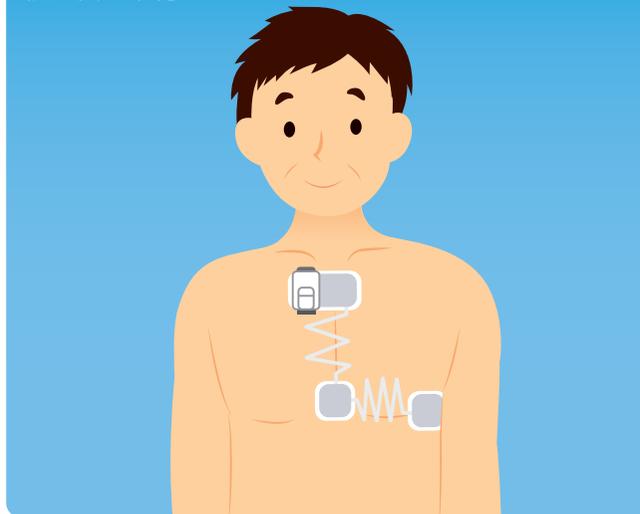
高齢化や生活習慣病の増加に伴い、不整脈など心臓に不安を抱える人が増えています。

虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）や不整脈などの**早期発見、早期診断**のためには、心臓の中で起こっている電気の変化を記録する心電図検査が有効です。

しかし、健康診断などで行われる短時間の安静時心電図検査や運動負荷心電図検査では異常が発見できないことがあります。

より詳しい状態を調べるためには、日常生活環境での心電図を長時間記録する必要があり、それを可能にしたのが**24時間ホルター心電図検査**です。

検査機器取付イメージ



わたしたちの大切な心臓は、休みなく **1日10万回**も拍動を繰り返して血液を循環させています。

日常のあらゆる変化に対応し、われわれの生命を維持し続けています。イラスト図にあるような症状をひとつでも感じたら、24時間ホルター心電図検査を受けましょう。

